

林檎の森

りんごのもり



特集 1

援農隊マッチング支援事業

特集 2

JA営農指導実践大会 最優秀賞受賞

りんご産地における 補助労働者確保 に向けた取組

現在、りんご農家の担い手の高齢化や補助労働力不足が深刻化している。しかしながら、解消に向けた「援農隊マッチング事業」の取組みにより明るい兆しが見えてきた。

今回は、りんご産地である当JAをモデルとしたこの事業に迫る。

りんご産地における補助労働力確保に向けた取組

現在、リンゴ農家の高齢化や担い手不足、補助労働力不足が深刻化している。そこで、県は国の「援農隊マッチング支援事業」を活用して補助労働力確保に取り組んでおり、モデル地域になっている当JAと一緒に、アンケートによる現状の把握や生産者と補助労働者とのマッチング方法について模索してきた。今回は、これまでの取組結果と今後の課題について報告したい。

産地の労働力事情

農業の担い手や補助労働力の不足と高齢化の進行は、病害虫防除や早期適正着果、適期収穫作業などに影響を及ぼし、高品質なリンゴ生産を継続していく上で大きな課題であり、その対応が急務とされている。また、リンゴ経営は、摘果、着色管理、収穫の各時期に労力が集中するため、この時期に

は自家労働力だけでは間に合わず、かなりの部分を雇用労働力に頼っているのが現状だ。これまで、リンゴの作業経験がある人を継続的に雇用するというケースが多かったが、雇用者においても高齢化等により従来の雇用形態を維持することが難しくなっている。

アンケート結果から見えたもの

平成29年1月に、当JA管内を対象に生産者へ実態把握調査を実施した。

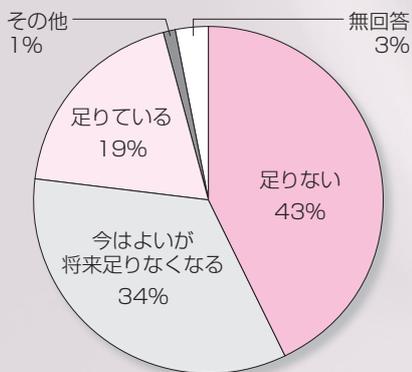
調査結果では43%が現在すでに労働力が足りない状態であり、将来足りなくなると答えた34%を合わせると、実に77%の生産者が補助労働力に不安を持っていることになる。(図1)

雇用条件については、労働者の意向を融通できる又はある程度融通できると答えた割合が69%であり、短時間や不定期といった援農者の要望にある程度融通が利くという結果であった。

このことから、当JAで現在行



図1 現在労働力は足りている？



援農者の受付状況は表1の通りである。申込後に援農希望者の都合でキャンセルとなったこともあ

「援農者」募集は予想を上回る申込み

なっている無料職業紹介事業（勤務時間8時～17時、基本毎日、雨降りも来てほしい）で来る「求職者」とは別に、日常の生活の中で空いている時間を農作業に向けてもらう「援農者」としての視点で労働力を確保できないかということとで、8月下旬～9月上旬にかけて県内スーパー等にチラシを配布して募集を募った。

表1 援農希望者受付状況 (11/27現在)

受付件数 31名	男性：10名	70代 2名 60代 11名
	女性：21名	50代 6名 40代以下12名
	弘前市内：21名	
市外：10名（青森市・蟹田）		
援農受入希望者	33名	
マッチング	25名	

出勤日や勤務時間を援農者に合わせるといった雇用条件の緩和によって、今まで農作業を手伝いたくても条件が合わず、応募に躊躇していた層からの申し込みがほとんどを占めた。実際、園地に来たくても自家用車を使用できる日が限られている場合や毎週の通院日

援農者の特徴

だが、25名の援農者を14農家にマッチングすることができた。無料職業紹介事業では、年間で5～7件のマッチングであることから、9～11月の短期間で14農家にマッチングできたことの意義は大きい。



山内氏のリンゴ園では大学1年生の生徒2名が収穫作業を手伝った

図2 今後労働力確保できる？

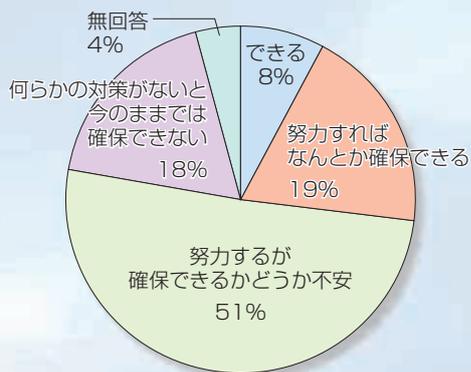
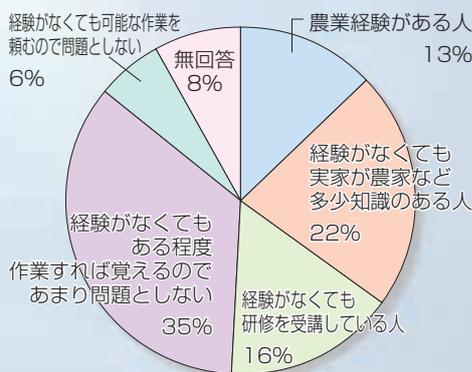


図3 どの程度のスキルが必要？



が決まっているものの「休みたい」と言いづらいなどの条件を持った方からは、「とてもうれしい取組みだ」との声を頂いている。

年齢層別にみると、60代以降の援農者は週1〜2日程度の休みがあれば、毎日でも出勤できるとしている。但し自家用車を持っていない人がいるため、JAと園地間の送迎が必要な方もいた。

一方で60代以下の援農者は、仕事の休みを利用して来るため、日にち指定で単発がほとんどである。また学生は自家用車を持っていないことから、JAと園地間の送迎が必要だとした。

1月のアンケートでは「農業経験者に来てほしい」という意見が多かったが、やる気さえあれば意欲的に作業をこなしており、問題はさほど見られなかった。

今回援農者として申し込んだ大学生の感想

「私たちは東京都出身であることから、リンゴ園ではどのような作業をしているか気になって応募し

ました。実際に作業してみると、園主さんが分かりやすく収穫のコツを教えてくれたほか、安全面にも気配りされており安心して作業できました。」

「私たちにとって、短期間や1日だけのアルバイトは勉学の合間に出来ることからとても魅力的です。実際に職業安定所でも短期間の求人募集は少なく、援農隊マッチング支援事業は大学生にとっても都合だと思えます。夏休み期間も長期であることから、来年は葉摘みの時期などでも応募してみたいです。」

援農隊を受け入れた山内氏の意見

「長期間の雇用は金額的にも大きいことから、スポット的に1〜2日だけでも来てくれればコスト面においても魅力的です。収穫時期にこの事業を活用して本当に助かりました。来年は葉摘みの時期にも人手不足が懸念されることから活用してみたいと思います。」

特集 1

援農隊マッチング支援事業



手際良く収穫を手伝う援農隊



援農隊受入希望者

園主：山内 敬三 さん

収穫時期に限らず、一日だけでも手伝いに来てくれる人が居れば本当に助かります。また、来年も活用したい。



今後の取組について

まず今年度のこの取組に対しての良かった点や改善点などをリンゴ生産者や援農者から聞き取りを行い、内容を検討していく。農作業が初めてだった援農者は、どういった作業をするのか想像がつかず、「私でも大丈夫だろうか」という不安が園地に入るまであったという意見もあった。また、生産者も援農者を受け入れるために何を準備しなければならぬかなどの疑問があった方もいた。

作業に関する不安については、県で作成中の農作業の手順をまとめたDVDを活用したり、JA指

導員らによる講習会を開くなどして援農者の作業に対する不安を払拭することができる。また、雇用については万が一労災事故が発生した場合、1日限りのアルバイトであっても事業主は補償義務が生じるため、労災保険に加入するなどの対策が必要になる。

このように、生産者と援農者が快適かつ円滑に作業を進めるためには、双方が勉強し合ってこの事業の趣旨を理解し合うことが大切であることから、労務管理研修会や農作業のポイントを学ぶ講習会など、必要に応じた情報提供を行うなどして今後の事業継続を図っていく考えである。



青森県代表のJA相馬村が最優秀賞を受賞

「飛馬ふじ」栽培基準確立と普及への取組事例を発表

平成29年度 JA指導実践 北海道・東北ブロック大会



力強く発表し、飛馬ブランドを多くの人にアピール

JAと農家組合員の強い結びつきが評価される

11月30日、福島県郡山市で北海道・東北農業対策協議会主催の平成29年度「JA営農指導実践 北海道・東北ブロック大会」が開催され、青森県代表として選ばれた当JA農業振興課 三上拓哉が「飛馬ふじ」の取組について発表し、最優秀賞に輝いた。

全国に伝えたい

JA相馬村の取組事例

今大会で最優秀賞に輝いた発表内容を一部紹介したいと思う。

飛馬ふじく飛馬りんご牽引役を目指して、

「むつ」の衰退を機にリンゴ生産販売戦略を策定

JA相馬村は、全国的に見ても小規模なJAでありながらもリンゴ販売品販売高は36億円、共販率が90%以上とリンゴに特化したJAとして注目を集めている。

現在の飛馬ブランド確立に至るまで、主力品種であった「むつ」の栽培が管内農家組合員の営農基盤の中心であったものの、昭和50年代に入ると国内経済の低迷と共に「むつ」の消費が衰退し、管内の「むつ」の入庫数量も激減した。衰退の要因としては、景気の低迷

Special News



津軽弁で会場を沸かせた一面もあった



最優秀賞受賞とともに、全国大会出場へ



営農指導員が重点的に個別巡回し、究極の味を実現

をはじめとし、生産面では生産資材の高騰、消費面では消費者のニーズが「見た目重視」から「味重視」、「大玉」から買い求めやすい「中玉」に移行したことなど外部要因が大きかった。

当JAは、この危機的状況を打開するために「りんご生産販売戦略」を策定し、農家の所得確保に向けて「究極のサンふじ＝飛馬ふじ」を新たな主力品種として位置づけ、新たなブランド展開に向かった。

—「本物志向」で品質の線引き—
JAと地元ベテラン農家らのみ

ならず、関係機関を含めたプロジェクトチームを立ち上げ、生産・流通・販売までの取組方針について本音でぶつかり合った。「見た目も味も良い、本物志向の究極のサンふじ」を実現させるため栽培法を模索した。

葉摘みや収穫時期にスポットを当てただけでなく、土づくりからこだわって良品生産に結び付けようとJAがリーダー性を発揮し、栽培技術の高位平準化を目指した。3年間にわたり、生産者・市場関係者・JAなどが一体となった試験栽培の末、飛馬ふじの栽培基準

は出来上がった。また、糖度についても14度以上を保証して販売することとし、基準値まで糖度が上がっていることを指導員が確認した上で収穫を促すことにした。

—むっぐの後継者として、飛馬ふじが主力商品へ—

JAの主導で適正な栽培基準に取組んだ結果、消費者からの評価を得て販売高が伸長し、生産者への所得向上へと繋がった。飛馬ふじ。平成22年産以降、販売価格は常に平均単価5,000円以上をキープし、以前の「むっぐ」並みの高価格帯を維持している。これは、宅配やギフトに絞った販売で重点を置くことで、取引価格が固定され相場に左右されない強みとなり、現在の飛馬ふじが確立された。

—全国大会に向けて—

今回の発表を通じて、飛馬ブランドを再構築する取組みが評価され、我々の自信にも繋がった。組合員の皆さんと一緒に育ててきたこの取組を全国の皆さんに発信してきましたと思いますので、応援よろしく願います。

催事



贈答用リンゴの大半は箱詰めされ、その場で発送するお客様が多かった



家庭用リンゴも大人気

JA十和田おいらせ下田支店



順番に職員が対応



レジには途切れなく長蛇の列

毎年恒例のリンゴ販売キャンペーンが、今年も県南地域5カ所で開催された。このうち、JA十和田おいらせ下田店では早朝から多くのお客様が訪れ、コンテナ満杯に詰められたリンゴを買い求めていた。

2日間で1,300箱(20kg)のリンゴが完売した。

りんご販売キャンペーン開催

「飛馬リンゴの美味しさは格別」と大好評

県内キャンペーンでは、多くのお客様から喜びの声が届く。

・Aさん

「相馬のリンゴは格別で、この日を毎年楽しみにして買いに来ています。」

・Bさん

「蜜いっぱいリンゴが大好きです。家庭用リンゴでも十分なくらい毎年満足しています。」

・Cさん

「県内外の親戚や友人に飛馬リンゴを送ると、みんな喜んでいきます。」



駐車場も満車が続いた



沢山買うお客さんが多かった



金多豆蔵人形芝居



会場に活気と笑顔溢れる



人形芝居のみならず、三味線とともに歌声も披露



演目に見入る会員ら

11月25日、年金友の会「相幸会」の忘年会が鱒ヶ沢町ホテルグランメール山海荘で開催された。

会場では「金多豆蔵人形芝居」や職員によるアトラクションのほか、会員によるカラオケが披露され、大いに盛り上がりを見せた。職員によるアトラクションについては、マスコットキャラクター「チョリス」の重さを当てるというゲームで、各テーブル別に予想を記入して1位を目指した。

カラオケ大会で会場は大盛り上がり



会員らが自慢の歌声を披露

チョリス人形は何g？



実際にチョリス人形を手にして重さを確認



見事1位に輝いたグループは…

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部担当 繁田 美智子



このほど、次世代女性リーダー研修会が開催されました。JA健康寿命100歳プロジェクトとして「健康寿命100歳を目指して！ ～楽しく元気に年齢を重ねるために～」を目標に、青森県シクリエーション協会会長の塩谷彰宏氏が講演し、楽しく学ぶことが出来ました。

タフタフしたりと汗をかきながらの参加となりました。今回は、皆さんにも面白いと思った問題を紹介したいと思いますので、是非挑戦してみてください。

塩谷先生の体験談を交えたお話し問題が含まれたダンスやゲームなどもあり、頭をひねったり、ア

また、講師の塩谷氏は多彩な経歴の持ち主で、その中でも珍しいと感じたことが指笛の演奏家だということです。58年の演奏歴を持ち、CDまで作っているそうです。3〜4曲ほど披露して下さい、とても感動しました。

あなたも脳トシに挑戦

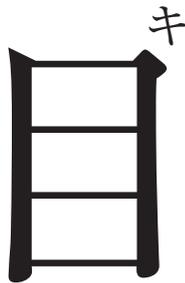
問1

傾いた4の中に5が入ると、なんと読む？



問2

目の右肩に「キ」があると、なんと読む？



※回答はP15編集後記

直売所「林檎の森」

直売所 三上南々



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。今回は、直売所における消費者目線に重点を置き、直売所の魅力を直売所会員と共有したいと思います。

直売所の魅力

直売所に訪れる多くのお客様は、「鮮度」・「値ごろ感」・「地元産」

に魅力を感じて利用することが多いと伺えます。鮮度は基より、現代における価格競争が激化する中、スーパーと比較して同等の値段やそれよりも多少安く提供することで客足も増えるものと考えます。また、直売所は旬や季節が感じられる農産物が多いだけでなく、珍しい品種のものがあることでも注目を集めています。

消費者の購買意欲を高める

やはり、ただ単に商品を出荷するだけではなく、その商品の魅力を消費者に伝えることも重要な鍵を握っています。直売所「林檎の森」では、棚に並ぶ野菜ごとに素材を活かした料理レシピを作成したりすることで好評を得ています。商品のPRやレシピ作成により、消費者の購買意欲を高めることが伺えます。直売所会員の皆さんも、積極的に挑戦してみたいかがでしょうか。小さなアイデアが大きな注目を集める鍵となります。



出荷者オリジナルの商品紹介が好評

果実販売動向

販売課 米澤 松太



11月の果実動向はトータルとしては数量増の単価安で推移しました。ミカンについては、極早生から早生へ切り替わり、各産地が出揃ったことにより極早生との併売や、台風や長雨の影響による食味や品質の問題から弱含みの販売で推移しましたが、下旬には不足感から引き合いが強くなり、強保合いの展開となりました。柿については着果量が多いことから、先行する産地が潤沢な出回りとなり低調に推移しましたが、値頃感から特売需要が活発で、終盤を迎えるころには品薄となり一転して堅調価格となりました。イチゴについては、

県産のサンふじも着色不良により後半へずれ込み、贈答向けについては引き合いの強い状況ですが、比率の高い下位等級品、小玉果については厳しい販売となり、二極化現象となりました。当JAでは、贈答需要が昨年対比で150%を超える受注から、上位等級品の在庫が大幅に不足する状況となっております。

各産地出遅れにより堅調価格で推移していましたが、入荷の増量とともに下げに転じました。リンゴについては、中生種が遅れて販売されているなか、さまざまな黄色系リンゴが一齐に出揃い、市場は黄色系へ傾注したことから荷動きは鈍く、流通在庫が膨らみ、下げ基調で推移しました。後続する他

今後、ミカンについては、引き続き流通量が少なく限定的な取引中心になることから、引き合いが強くなり、価格も強持ち合いで推移する見込みであり、イチゴについては、栃木産の増量から下げ基調で推移し、クリスマス需要までは厳しい展開が見込まれます。柿については、売場の縮小から全般に弱めの販売が予想されます。そのような環境のなか、リンゴについては、長野県産の入荷が本格化となるなか、上位等級品は堅調推移、下位等級品については弱含みの展開は変わらない見込みであり、特

に下位等級品、小玉果については滞荷も目立ち始めていることから、厳しい販売状況が予想されます。国内贈答期が終了した段階で、旧正月向けの上位等級品がほとんど終了していることから、中小玉や下位等級品も国内外の企画の徹底を図ることにより、相場の安定を図ります。



贈答シーズンで荷造り作業も大忙し！

全農あおもりデータ・11/30累計

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	トキ	王林	サンジョナ	サンむつ	むつ	サンふじ	その他	計
単 価 (円)	2,352	2,797	2,387	2,390	2,803	2,705	2,373	5,112	3,033	2,741	2,611
前 年 比 (%)	91	87	97	87	84	83	96	100	84	89	89
数量(箱/10kg)	1,092,717	716,058	137,066	194,635	60,010	129,244	1,364	2,566	352,143	347,462	3,033,265
前 年 比 (%)	106	94	93	127	110	113	27	92	147	96	106

地域おこし協力隊 活動記 Vol.31



相馬地区地域おこし協力隊の鹿内です。今回は、11月18日(土)長慶閣にて開催された「相馬でJAZZを聴かNIGHT」および「わ」の1口を選んで!」相馬産りんご最高の1口決定選手権」の様子をご紹介します。

「JAZZ」は、音楽の力で相馬を元気にしたいとの思いで開催したジャズコンサート。これは地元の若者と協力隊とで結成された「相馬で夢おこし実行委員会」が企画・運営を行ったものです。昨年大好評をいただいた「長谷川健 Swing Hat Jazz Orchestra」様をお迎えし、アンコール3曲を含む全16曲をたっぷり演奏していただきました。2年目となる今年は、昨年の約15倍となる160名以上の方にお越しいただき、バンドからバーステアサプライズがあるなど昨年にも増して大いに盛り上がりました。

また会場では、地区りんご生産者の「成果発表の場」を作ることを目的とした「わ」の1口を選んで!」も行われました。これはりんごの形や色を品評するもので、出品者38名の想いが詰まった、計70個のりんごがずらりと並びました。審査は来場者による投票で行われ、今年は見た目の個性を競う「無差別級」も登場したことで、大人から子供まで予想以上のご投票をいただきました。各クラスの優勝者は、(*)相馬地区公式HPにて掲載していますので、ぜひご覧ください!

この2つの企画は、地元の若者たちのアイデアを元来实现してきたものです。私たちの力でさらに楽しい所にしていきますよう!

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



450年の奇習
沢田ろうそくまつり

ボランティア

募集



3月2日 18:00~

SAWADA SHINMEIGU

市内外から多くの方が訪れる沢田ろうそくまつりは、地元・相馬地区の方々、弘前大学生、多くの皆さんにより支えられています。相馬の歴史とまつりを残すため、ふるさと創生、地域活性化、共助・協働の精神で一緒にろうそくまつりを守りませんか？ 今回も広くボランティアの募集を行ないますので、ご協力お願いいたします。

開催場所：沢田神明宮 境内

お問い合わせ先：沢田ろうそくまつり実行委員会 実行委員長 三上 優一 (TEL 090-3754-0941)

農協役員室で——ネズミ盗聴器

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。「油売り」と洞ほらとマムシの三人が居る。この人達のお相手をする組合長と専務も容易でないらしい。

油売り「県内で、同じ町村から同時に国会議員が二人出ている所を知っているか」

専務「ドゴだ」

マムシ「オマエ方(相馬村)とドゴだ」

油売り「上北郡浦野館だ——森田重次郎と米内山義一郎」

マムシ「政治家の話になれば、東京のユリ子はもう——株が下がる一方だナ——」

油売り「中曽根が首相のとき、『俺は政界の風見鶏だ』と言ったが……」

マムシ「百合子も風見鶏のタイプだ。帆船の船頭せんとうは風見が達者でなければならぬぞうだが、政治家のそれは感心できないな——」

油売り「本県に『俺はきな粉餅だ。政治家はきな粉が付く方に転ばない』——と言った人もあったな——」

岩木山の東に——」

マムシ「戦前、批判されても『後でわかる』と言った首相があったようだナ——」

油売り「えらいよ」

マムシ「ジヨッパリの一人は吉田茂か」

油売り「『この国は俺が守る』と言って(アメリカの世話にならなくても)ロッキードの仕掛けにかかって失脚したのが田中角栄か」

マムシ「組合長! 『リフォーム』という片仮名が新聞に出てくるけれども、どういうことですバ」

組合長「修理とか造り直しということではないか」

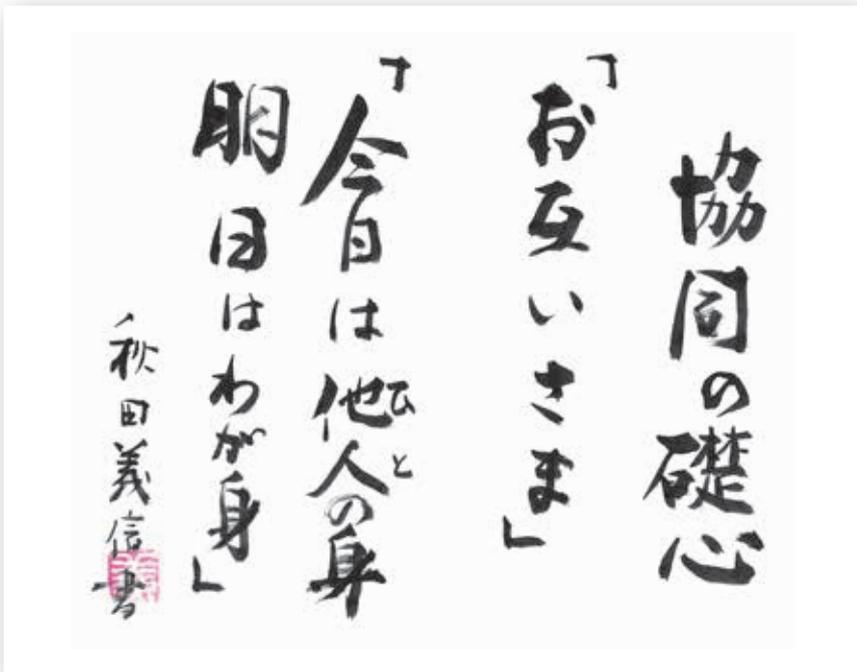
マムシ「オレエ

のキャッチャのリフォームを農協でやってケライヘンガ」

組合長「それをキャッチャにシヤベテもしいが」

専務「オメエ、家エがら出されるよ——」

油売り「組合長! 今年は台風被害も無かったし、農協主催の『無難感謝会』をやりませんか。会費制で——」



マイカーローン・教育ローン キャンペーン実施中

期 間：平成29年12月1日～平成30年4月30日

○キャンペーン期間金利

※保証料含まず。

	マイカーローン	教育ローン
期間中基準金利	2.2%	1.5%
最優遇金利	1.5%	1.5%

条件により
最大

1.50%



※詳しくはJA相馬村本所金融課まで

編集部のつづき ~ 編集後記 ~

あっという間に冬景色となった今日この頃。気づけば2017年も残すところ約2週間となりました。リンゴについては贈答シーズンが最盛期を迎え、飛馬ブランドとして全国各地に届けられています。

先日、出張で東京に向いた際に太田市の中にある東一東京青果を見学し、飛馬リンゴがセリに掛けられている様子取材してきました。各産地のリンゴがサンプルとして1ケースが開封される中、相馬の「むつ」だけが開封されずに並んでいたのが印象に残っています。不思議に思い、その理由を東一東京青果渡邊副部長に聞くと、「相馬の「むつ」は開封しなくても最高級品質の信頼があることから、それを承知して仲卸の方々も次々と手を挙げるのさ。」と教えてくれた。これを聞いた私は、先人たちが築き上げてきた「相馬」という産地力にとても感動しました。これからも、この信頼を維持していけるようJA職員として業務に携わっていきたいと思います。詳しくは、新春号の特集にてお伝え致します。

(S.daiky)

追記：P10脳トレ回答 ①四捨五入 ②目の敵

十二月の川柳

無事入庫

郷土とJAに 深く感謝

りんごアート

三万五千命の 芸術品

お歳暮へ

「そまりん」山と積まれて

年が往く

(田沢 勝衛)



防寒長靴

アスパー、
ライトフィールド、
ミツウマなど
各種販売中！



詳しくは湯口支所
購買窓口まで。

理事会だより

11月20日 (月)

- 1) 10月末残高試算表について
- 2) 2017ディスクロージャー誌の縦覧について
- 3) 貯金規定の一部改正について
- 4) 教育ローン・マイカーローン特別推進運動について
- 5) 貸付関係について
- 6) りんご販売関係について

今月のあなたの運勢 ★ 1月 ★

モサ・オサンドロ



♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19

全体運
プレッシャーを感じやすい。肩肘を張らず、周囲の言葉に耳を傾けてみると◎。気晴らしには運動がベスト

健康運
寒さ対策が重要。小まめに動くのも有効

幸運を呼ぶ食べ物
キャバツ

♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20

全体運
フットワークの軽さが幸運の呼び水に。保留されていたことが動き始める予感。少し遠出の旅行も吉

健康運
規則正しい生活が運氣アップのポイント

幸運を呼ぶ食べ物
シュンギク

♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21

全体運
気が長続きしにくい月。あれもこれもと手を広げると、全てが中途半端になりがち。開運には寺社参拝へ

健康運
ゆったり過ごして。適度な休息を大切に

幸運を呼ぶ食べ物
シジミ

♋ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22

全体運
気まぐれになり、人を振り回してしまいがち。言動をコロコロ変えないこと。好きな曲でテンションを上げて

健康運
おおむね良好。ダンスやスポーツを楽しんで

幸運を呼ぶ食べ物
ユリ根

♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22

全体運
物事をネガティブに考えやすい時期。持ち前の明るさを忘れず。また、うわさ話に興味を持つのも運氣低下のもと

健康運
疲れたら、ゆっくり休んで。自愛が必須

幸運を呼ぶ食べ物
ブリ

♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22

全体運
にぎやかで華やかなことに縁があります。新年会やパーティーといった席には積極的に顔を出して。観劇も刺激大

健康運
体操など、軽い運動が元氣キープの秘訣

幸運を呼ぶ食べ物
レモン

♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23

全体運
珍しく感情的になりやすいかも。深呼吸で心を静めて。趣味や好きなことを満喫する時間を持つとラッキー

健康運
運動不足になる暗示。体重増を招きがち

幸運を呼ぶ食べ物
のり

♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22

全体運
視野を広げるチャンス。いろいろな分野に興味を持って。新しい趣味や習い事をスタートすると好結果に

健康運
心に余裕を持つことで、運氣回復の兆し

幸運を呼ぶ食べ物
伊勢エビ

♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21

全体運
物事を強気で進めるのには不向き。しっかり足元を見詰め、着実な歩みを目指して。精神的な部分の強化に最適

健康運
食生活が乱れやすい月。節制を心掛けて

幸運を呼ぶ食べ物
キウイフルーツ

♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19

全体運
やる気が高まる活動期。自然と長所が表に出そう。アクティブに動くことで、さらなる発展や成長が期待できます

健康運
ストレッチやヨガは、体調に好影響あり

幸運を呼ぶ食べ物
ナガイモ

♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18

全体運
サービス精神旺盛に行動すれば、徐々にスムーズな流れを引き寄せられる期間。思いやりや周囲との協調が大事

健康運
うっかりしやすい。小さなけがに注意を

幸運を呼ぶ食べ物
こんにゃく

♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20

全体運
対人運が活性化します。初対面の相手ともすんなり打ち解け合えるはず。グループプレーにもつきがけありそう

健康運
体力増強に良い時期。スポーツに励んで

幸運を呼ぶ食べ物
甘エビ



アンドンパネルは全てオリジナル



細部に渡る「こだわり」



「義理人情」



フロントアンドン



ひとときお輝く。パートナー
「おらほのりんご」と行く編」

(株)加藤急便の石倉さんが日本列島を駆け抜け、九州を目指す



泥除けのステンレス部にも誼い文句が



リアショット



ナイトシーンでも存在感抜群に輝く



早生ふじ3kg

10月下旬、フルーツステーションを出発したのは(株)加藤急便のトラック。行先は、全国でも屈指の流通量を誇る「福岡大同青果(福岡県)と「イオン九州(佐賀県)」だ。大阪府の南港からフェリーで海を渡り、九州へ。ドライバーの石倉さんは、映画「トラック野郎」に憧れ、21歳から運送業に就き、現在に至る。今のシーズンはリンゴ真つ只中で、自分自身もリンゴが好きで「トキ」は甘くて香りも良好とイチオシした。

当JAで出荷されるリンゴは早生種から中生種へと移り変わり、早生ふじ・トキ・千秋・森田シヨナが出荷された。その中でも、近年注目を集めているのが、3kgオーブン箱の「理由あり林檎」だ。これは、見た目よりも中味をアピールしたもので、見た目が劣るリンゴであっても一生懸命に育てたリンゴに変わりはなく、旨さに自信があるというヒット商品だ。低価格でありながらも美味しいリンゴとして商品価値が高まっているほか、季節感があり購入しやすい価格で自家消費用のニーズに

魅力
Part 2

農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2017.12 Vol.425

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2017年12月15日

JA 相馬村概況

〈平成 29 年 11 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	357 人
出資金	638,860 千円
貯金額	9,620,423 千円
共済保有高	3,529,795 万円